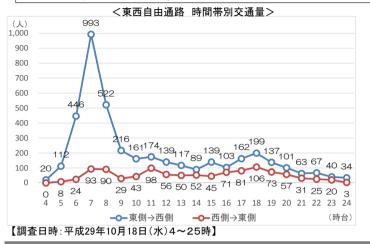
# 1.1 自由通路利用者数調査結果

- ●北信太駅の1日の利用者数は、天王寺方面が約8,000人/日、和歌山方面が約2,000人/日となっている。
- ●東西自由通路の通行者数は約5,000人/日で、通勤・通学の時間帯に東側から 西側に大きなピークがある。



天王寺方面 8,177 西口 2,821 525 1,324 東西自由通路 1,849 和歌山方面

<北信太駅方面別通行量>

# 1.3 駐輪状況調査結果(路上駐輪状況)

【調査日時: 平成29年10月18日(水)7~19時】



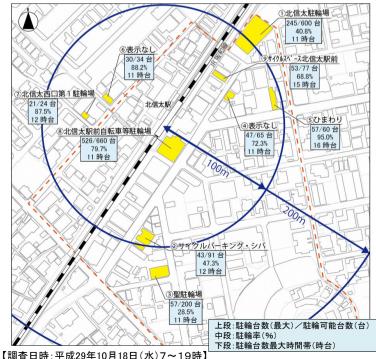
- ●北信太駅周辺の路上駐輪の状況 をみると、駅東口に近い区間 20・25において、平均4台以上 の路上駐輪(自転車・原付・二 輪含む)が確認された。
- ●また、いくつかの商店等が立地 する区間21・22等においても平 均3台前後の路上駐輪が確認さ れている。
- ●ただし、調査対象地区全体における路上駐輪台数の最大は12時台の48台となっており、駐輪場の不足が原因である路上駐輪は発生していないと考えられる。

放置台数(1台/時間以上計測)				
区間	1時間平均	区間	1時間平均	
区間3	0.1	区間36	0.8	
区間9	0.2	区間37	0.1	
区間15	0.3	区間42	0.2	
区間17	3.5	区間47	0.3	
区間20	5.5	区間54	0.2	
区間21	3	区間61	0.1	
区間22	3.1	区間81	0.1	
区間23	0.1	区間91	3.8	
区間25	4.3	区間W1	0.7	
区間26	2	区間W6	0.1	
区間28	0.1	区間W8	2.1	
区間30	1.1	区間W9	0.4	
区間35	0.3	•		

# 1.2 駐輪状況調査結果(駐輪場状況)

- ●北信太駅周辺の駐輪場の状況をみると、約1,800台の自転車及び 二輪の駐輪場が整備されている。
- ●各駐輪場の空き状況をみると、⑧北信太駅前自転車等駐車場 (市営駐輪場)を除く計8駐輪場で約600台の空がある。
- ●各駐輪場の駐輪率をみると、北信太駅から遠くなるほど駐輪率が低くなっている。





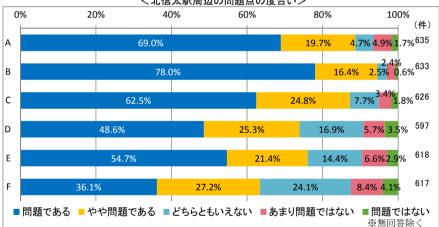
## 2.1 北信太駅周辺の問題点

- ●下表に示すA~Fの問題点のうち、「B. 道が狭く歩行者と自動車が交錯して危険である。」において問題であるという回答が最も多く、約8割の回答者が問題であると回答した。また、上位3項目の選択でも、回答者の8割以上が「B. | を選択している。
- ●次いで、「A. 駅東側の駅前広場及び府道からのアクセス道路が未整備でありバスやタクシーの利用が不便。」と「C. 駅地下自由通路がバリアフリー化されていない。(エレベーター未整備)」に対する問題意識が高いと考えられる。
- ●また、「F. 貝吹山古墳や葛葉稲荷神社などの駅周辺の観光資源が活用されていない。」では、他の項目と比較して割合は低いが、約4割の回答者が問題であると回答している。

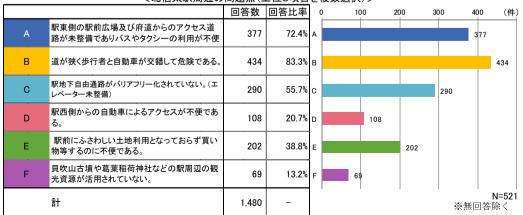
## <北信太駅周辺の問題点>

Α	駅東側の駅前広場及び府道からのアクセス道路が未整備でありバスやタクシーの利用が不便。
В	道が狭く歩行者と自動車が交錯して危険である。
С	駅地下自由通路がバリアフリー化されていない。(エレベーター未整備)
D	駅西側からの自動車によるアクセスが不便である。
Е	駅前にふさわしい土地利用となっておらず買い物等するのに不便である。
F	貝吹山古墳や葛葉稲荷神社などの駅周辺の観光資源が活用されていない。

## <北信太駅周辺の問題点の度合い>



## <北信太駅周辺の問題点(上位3項目を複数選択)>



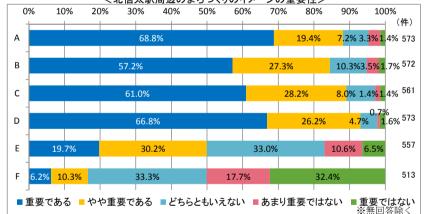
# 2.2 北信太駅周辺のまちづくりのイメージ

- ●下表に示すA~Fのまちづくりのイメージのうち、「A. バスやタクシーなどの公共交通が利用しやすい交通利便性の高いまちづくり」において重要であるという回答が最も多く、約7割の回答者が重要であると回答している。
  - また、上位3項目の選択でも回答者の約8割が「A.」を選択している。
- ●次いで、「D. 幼児や高齢者、障がい者をはじめとする誰もが安全で安心して外出することができるバリアフリー化されたまちづくり」の重要性が高く認識されていると考えられる。
- ●一方で、「E. 貝吹山古墳や葛葉稲荷神社等観光資源のPRにより来街者でにぎわうまち」と「F. 現状のままのまち」に対する重要性の認識は低い。特に「F.」では、重要であるという回答は1割以下であり、重要ではないという回答が約4割を占めている。

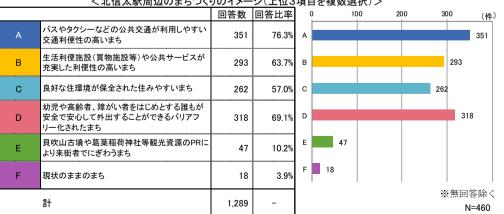
## <北信太駅周辺のまちづくりのイメージ>

Α	バスやタクシーなどの公共交通が利用しやすい交通利便性の高いまち
В	生活利便施設(買物施設等)や公共サービスが充実した利便性の高いまち
С	良好な住環境が保全された住みやすいまち
D	幼児や高齢者、障がい者をはじめとする誰もが安全で安心して 外出することができるバリアフリー化されたまち
Е	貝吹山古墳や葛葉稲荷神社等観光資源のPRにより来街者でにぎわうまち
F	現状のままのまち

### <北信太駅周辺のまちづくりのイメージの重要性>

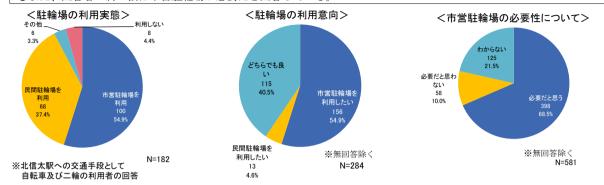


## <北信太駅周辺のまちづくりのイメージ(上位3項目を複数選択)>

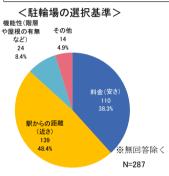


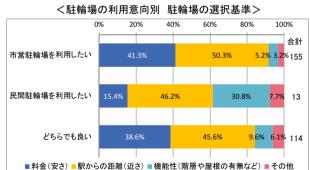
# 2.3 駐輪場について

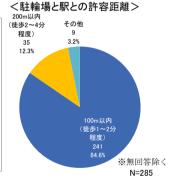
- ●駐輪場の利用実熊をみると、北信太駅へ自転車及び二輪を利用する回答者のうち、約半数が市営駐輪場を利用している。
- ●回答者の約半数は市営駐輪場を利用したいと回答している。
- ●また、回答者の約7割は市営駐輪場が必要だと回答している。



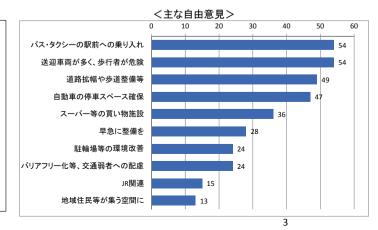
- ●駐輪場の選択基準をみると、駅からの距離(近さ)が一番多く4割以上、次いで料金(安さ)が約4割となっている。
- ●駐輪場利用意向別の駐輪場の選択基準をみると、料金(安さ)は、市営駐輪場を利用したいでは約4割であるが、民間駐輪場を利用したいでは約1割となっている。民間駐輪場を選択する際には、料金(安さ)ではなく駅からの距離(近さ)が1番大きな要因になっていることが推測できる。
- ●駐輪場と駅との許容距離をみると、100m以内が約8割を占めている。







- ●自由意見で寄せられた主な回答をみると、「バス・タクシーの駅前への乗り入れ」及び「送迎車両が多く、歩行者が危険」等駅前広場整備や道路整備に関する意見が多くなっている。
- ●また、「スーパー等の買い物施設」や 「地域住民等が集う空間に」等、まちづく りに関する意見もみられる。
- ●なお、「JR関連」では、「新しい駅舎を整備してほしい」、「快速を停車させてほしい」、「高架化等、踏切を改善してほしい」といった意見がみられた。



#### ◆回答者の属性及び北信太駅の利用状況 【回答者の属性】 【北信太駅の利用状況】 <性別> <利用頻度> 男性・女性と 答えることに 抵抗を感じる 0.8% 週5日以上 年に数回以下 213 週に数回程度 33 3% 12 2% 377 月に数回程度 58.5% 223 34.9% ※無同な除く ※無回答除く N=644 N=639 <年代> 20歳未満 <利用目的> 22 20歳代 3.4% 30歳代 その他 9.3% 9.4% 70歳以上 28.5% 40歳代 4.5% 社交・飲食・娯 買い物 楽·観光 14.3% 244 60歳代 15.6% 通院 132 66 20.5% 16.0% 10.5% ※無回答除く N=643 ※無回答除く N=629 <居住地> 舞町 <駅までの交通手段> 2 0.3% 葛の葉町 0.9% 太町 自動車(家族 9 9% 54 等の送迎) 路線バス 鶴山台 7 1% 13.2% 38.3% 自動車(自分 王子町 で運転) 18 2.8% 上代町 上町 二輪車(バイ 尾井町 自転車 ク) 34 10.5% 15.0% 小野町 29 5.3% 26.7% 4.5% ※無回答除く 0.5% ※無回答除く N=645 N=645

# 【調査実施概要】項目内容調査名JR北信太駅前整備に関するアンケート調査調査期間平成29年10月17日(火)~11月1日(水)対象者15歳以上の信太校区及び鶴山台北・南校区の住民調査票配布票数1,400票調査票回収票数646票(11月6日現在)回収率46.1%

●地域の現状や各種調査の結果を踏まえて、北信太駅周辺の課題 を以下のとおり整理した。 ●これまで整理してきた地域の整備課題やアンケート調査結果を踏まえた住民の方々の意向を考慮して、整備目標(素案) として以下の4点を設定した。

市営駐輪場は老朽化している と共に耐震改修が必要 ⇒新築もしくは

耐震改修の実施

地下自由通路は階段しかなく 交通弱者の利用が不便 ⇒パリアフリー化の推進

日常生活に必要な商業施設の立地が少ない

自由通路 ホ宮駐輪場 駅へのアクセス動線が不十分 ⇒アクセス道路の整備必要

地区内は7-9時 車両進入禁止 調調 高太貝吹山古墳

葛葉稲荷神社や信太貝吹山古墳な どの地域資源の更なる活用 ⇒案内サインや古墳などの整備

路線バスが駅前まで乗り入れて おらず鉄道との乗換えが不便 ⇒駅広及びアクセス道路の整備

バス乗隆場

駅周辺は道路が狭隘で歩道が無

く、駅前広場が未整備であり、歩

行者と自転車、送迎車等が錯綜

⇒駅広及びアクセス道路の整備

して危険

# ■地域の整備課題

駅東西のアクセス道路や 駅前広場が未整備

バス停が駅から離れている など交通結節点としての 機能が不十分

駅周辺の細街路において 歩行者と自動車・自転車が 輻輳

駅東西を結ぶ自由通路が バリアフリー未対応

日常生活に必要な 商業施設の立地が少ない

葛葉稲荷神社や信太貝吹山 古墳などの地域資源の 更なる活用

市営駐輪場の老朽化及び 耐震改修

# ■整備目標

# 1. 誰もが円滑に移動できる

# まちづくり

・和泉市の北の玄関口として、鉄道やバス、 タクシーなどの地域公共交通を誰もが気軽 に利用できる環境の整備を目指します。

# 2. 誰もが住みやすい安心・安全 のまちづくり

・生活道路や通学路の安全性を高めたり、 バリアフリー化を進め、誰もが安心して暮 らせる環境の整備を目指します。

# 3. 日常生活の拠点となる

# まちづくり

・主に地域住民の方々が気軽に集い、日常 生活で利用できる沿道の生活利便機能や 賑わいを備えた環境の整備を目指します。

# 4. 地域の魅力を感じる

# まちづくり

・信太貝吹山古墳や葛葉稲荷神社をはじめ とした豊富な地域資源を活かした、歴史・文 化を感じることができる環境の整備を目指 します。

# ■住民の意向 (アンケート調査)

バスやタクシーが駅前まで入る ことができず、アクセスが不便

送迎の自動車が駅前まで 入ってきて歩行者が危険

送迎のためのスペース

がなく不便

駅の自由通路がバリアフリー化 されていないため、高齢者や ベビーカーの移動が困難

駅前に商店が少なく、 街路灯も少ないため 雰囲気が暗く感じる

駅前に生活利便施設 (買物施設等)や公共サービスが 充実していないため、 駅前へ出かける機会がない

信太貝吹山古墳や葛葉稲荷 神社等を活用したまちづくり

# 5.1 主要動線イメージ図【現況】



# 5.2 主要動線イメージ図【将来案】



# 5.3 まちづくり基本構想 (素案)

●整備目標(素案)及び現状・将来の動線イメージを踏まえて、北信太駅周辺におけるまちづくり基本構想(素案)を以下のとおり設定した。

